



仕上げキット

マルチプロ 1750 ターフスプレーヤ用フォームマーカ-

モデル番号125-8120

取り付け要領

注 このキットの取り付けには、フォームマーカ-キットが必要です。詳細については弊社代理店におたずねください。

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされています。

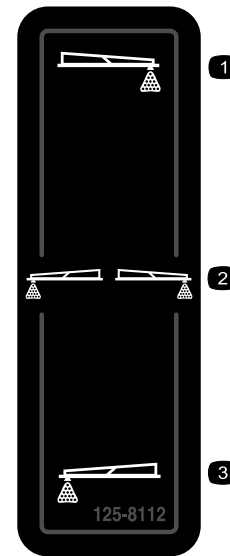
安全について

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。読めなくなったものは必ず新しいものに貼り替えてください。



125-8112

1. 右ブーム
2. 左右のブーム
3. 左ブーム



取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	フォームマーカ用ブラケット	1	仕上げキット用ブラケットを取り付けます。
	キャリッジボルト	1	
	Uボルト	1	
	フランジナット(3/8 インチ)	3	
	スペーサ	1	
	R クランプ	1	
2	フォームマーカ(別売品)	1	フォームマーカ(別売)を取り付けます。
	ボルト	4	
	ナット(1/4 インチ)	4	
3	ワイヤハーネス	1	スイッチを取り付けてハーネスを配設します。
	スイッチブラケット		
	ロッカースイッチ		
	パドルスイッチ		
	ボルト		

1

仕上げキット用ブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	フォームマーカ用ブラケット
1	キャリッジボルト
1	Uボルト
3	フランジナット(3/8 インチ)
1	スペーサ
1	R クランプ

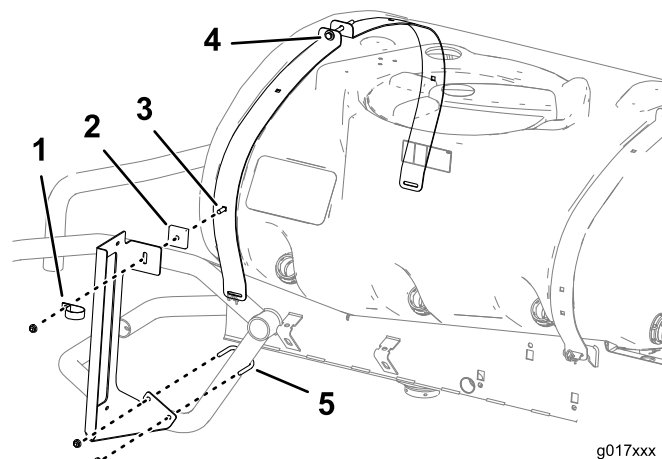


図 1

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. R クランプ | 4. ストラップボルト |
| 2. スペーサ | 5. Uボルト |
| 3. キャリッジボルト | |

手順

1. ストラップボルト (ベルトの頂部) をゆるめる (図 1)。

2. スプレーヤのタンク固定ベルトにキャリッジボルトを通す (図 1)。
3. ボルトにスペーサを取り付け、このボルトにブラケットを図 1のように取り付ける。
4. ボルトにRクランプを取り付け、フランジナット (3/8 インチ) を使用してボルトを固定する。
5. 図 1に示すようにUボルトを配置する。
6. Uボルトにブラケットを取り付け、フランジナット (3/8 インチ) 2個で固定する。

2

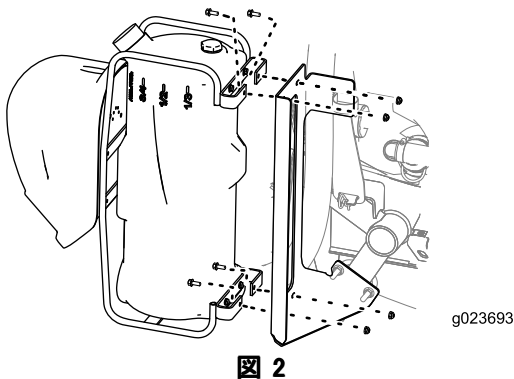
フォームマーカ（別売）を取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	フォームマーカ（別売品）
4	ボルト
4	ナット(1/4 インチ)

手順

フォームマーカをブラケットに固定する；ボルト4本とナット4個を使用し、図 2に示すように取り付ける。



2. ハンドルのカバープレートを外し、ナット類を外してハンドルをシャフトから外す（図 3）。

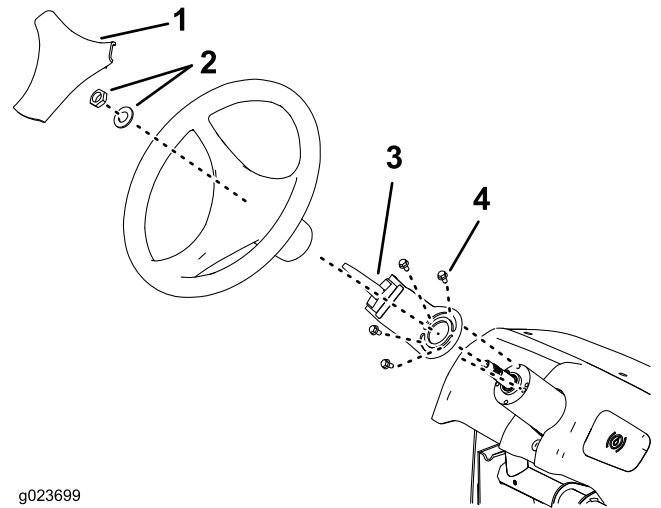


図 3

1. ハンドルのカバープレート
2. ハンドル固定用の金具類
3. スイッチブラケットに取り付けたパドルスイッチ
4. ボルト

3. ハンドルのシャフトにスイッチブラケットを通し、ボルト4本を使ってブラケットを固定する（図 3）。
4. ハンドルを取り付ける
5. スイッチパネルについているボルト4本を外してカバープレートを外す。
6. 図 4に示すようにON/OFFスイッチを取り付ける。

3

スイッチを取り付けてワイヤハーネスを配設する

この作業に必要なパーツ

	ワイヤハーネス
1	スイッチブラケット
1	ロッカースイッチ
1	パドルスイッチ
4	ボルト

スイッチを取り付ける

1. スイッチブラケットにパドルスイッチを取り付ける。

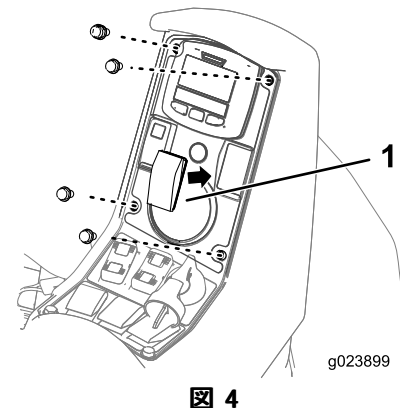


図 4

7. カバープレートを取り付ける。

ワイヤハーネスを配設する

注 運転席を倒す。

ワイヤハーネスを図 5および図 6に示すように配置する。

運転操作

コントロールを使用する

マーカー用パドルスイッチ： コンプレッサを作動させて左右いずれかのブームに泡の流れを送り出します（図 3）。

マーカー用 ON/OFF スイッチ： コンプレッサを作動させて左右両方のブームに同時に泡の流れを送り出します（図 4）。

インジケータマーク： タンクの側面についていて、タンク内部の溶液の量を示します。

泡密度調節バルブ： 泡生成液の濃度を調節します。バルブを操作することにより、ノズルに送り出される石鹼液の量を調整することができます。量を多くすると泡が大きくなり、同じ時間内により多くの泡が落ちるようになります；量を少なくすると泡が小さくなり、落ちる泡の数も少なくなります（図 7）。

注 風が強い日には、水分の多い泡にすると飛ばされにくくて便利です。

圧力解放バルブ： タンクのキャップについている赤いタブを外側に引っ張るとタンク内の圧力が解放されます（図 7）。

タンクに発泡剤を入れ、泡密度を調節する

重要 使い終わった後は、真水で内部を洗ってください（特に硬水で使用する場合には、使用後の洗浄を徹底してください）。潤滑油、グリスなど、石油系の製品を、コンプレッサ・モータ・アセンブリに使用しないでください。

1. コンソールのブーム・スイッチが左右ともOFFになっていることを確認する。
2. 赤いタブ（圧力解放タブ）を外側に引いて内圧を解放し、タンクの黒いキャップを外す。
3. タンク上部の口から、まず適量の水を入れ、次に発泡剤を入れる（発泡剤の分量は発泡剤メーカーの説明書に従う）。

重要 水のpH値が極端な場合（硬水/軟水）は、濃縮発泡剤の必要量が変わります。

4. タンクにキャップをはめ、手で締め付ける。
5. とりあえずの設定として、泡密度調節バルブを1/8～1/4回転、開ける（図 7）。

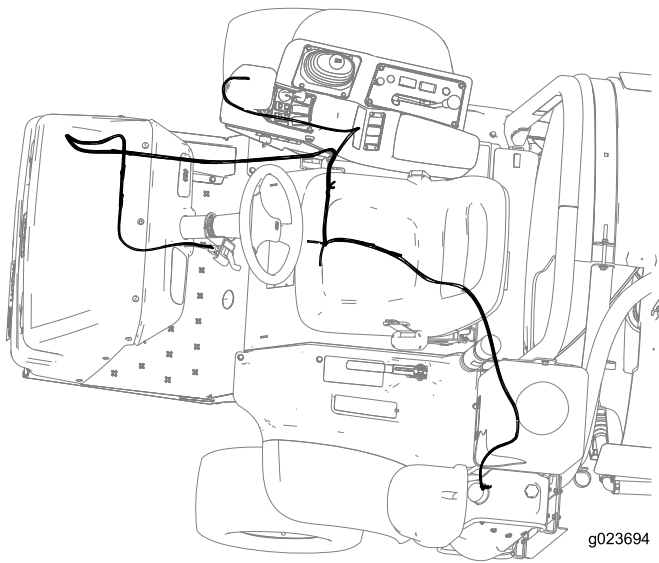


図 5

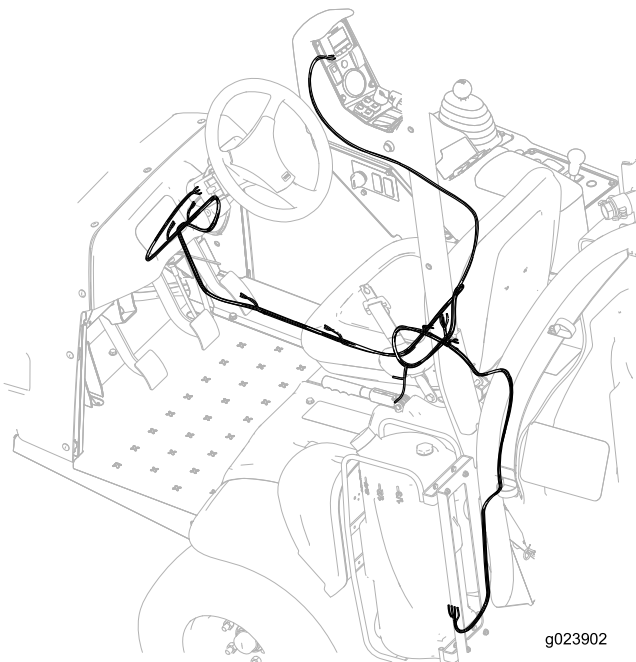
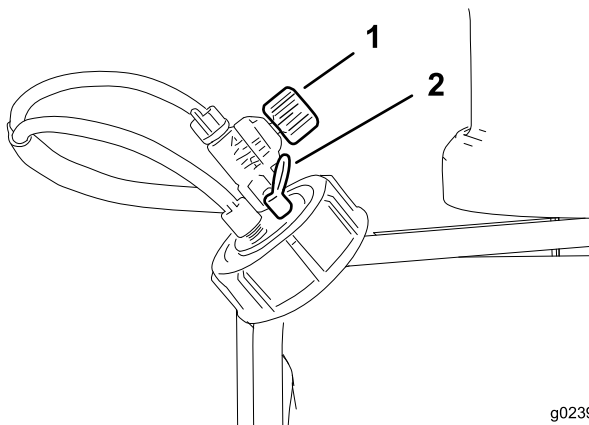


図 6



g023901

図 7

1. 泡密度調節バルブ 2. 圧力解放バルブ

-
6. マーキング・システムの操作を開始し、地面でテストする。

注 泡は最初の1～2分で配管に行き渡る。

7. 泡密度調節バルブで所望の濃度に調節し、ふつうに散布作業を行う。

注 泡をライン内に2時間以上残したままにすると、泡が水っぽくなることがあります。2時間以上の中断の後で作業を再開するときは、1～2分回して余分な水を抜いてください。

泡の水気が多すぎる場合は、次の手順を行ってください。

- A. 泡密度調節バルブを完全に閉じる。
- B. 2分間運転する。
- C. 1分待ってから泡の密度を確認する。
- D. 所望の密度になるまで調節する。

メモ:

メモ:



Count on it.